

---

第 32 報 2019 年 8 月 19 日

平成 28 年熊本地震 災害復旧資材供給情報

## 復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向



一般財団法人 経済調査会

---

平成 28 年熊本地震により被災されました方々に、心よりお見舞い申し上げますとともに、犠牲となられた方々のご遺族の皆様に対し、深くお悔やみ申し上げます。

熊本県内の復旧・復興工事に関わる主要建設資材等の価格および供給情報について、2019年8月15日までに収集した情報をもとに取りまとめましたので、お知らせいたします。

調査にご協力頂きました関係各位に感謝申し上げますとともに、当資材供給情報が被災地の復興に向けた一助となれば幸いです。

※災害復旧資材の供給情報提供窓口 <https://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/>

【問い合わせ先】

一般財団法人 経済調査会 土木第一部

TEL : 03-5777-8215 FAX : 03-5777-8230

## 【生コンクリート】

### （熊本地区）

熊本地区の7月の出荷量は6万4,570m<sup>3</sup>と前年同月比2.7%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。熊本駅前の再開発等大型民需も控えており、今後も需要は堅調に推移する見通し。一方、アジテーター車が不足しており、需給はややひっ迫している。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万5,500円どころを横ばいで推移している。熊本地区生コン協組では、原材料および、輸送コストの高騰を背景に、4月1日契約分より、昨年度、未浸透であった1,000円の値上げを改めて表明し、需要者側と交渉を行っている。目先、横ばいで推移する見通し。

### （阿蘇地区）

阿蘇地区の7月の出荷量は1万4,897m<sup>3</sup>と前年同月比14.9%減（熊本県生コンクリート工業組合調べ）。大型物件向けの出荷は一服感が出ており対前年割れの状況が続く見通し。ただ、震災復興関連工事向け需要は依然として続いており、今後も例年以上の出荷は見込まれている。

価格は、建築標準物21-18-20でm<sup>3</sup>当たり1万9,300円どころを横ばいで推移している。阿蘇地区生コン協組では、強固な共販体制を背景に現行価格の維持に注力している。先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【再生クラッシュラン】

### （熊本地区・阿蘇地区）

価格は再生クラッシュラン40~0mmが熊本地区でm<sup>3</sup>当たり2,000円、阿蘇地区で前月比m<sup>3</sup>当たり150円上昇し3,350円どころ。

阿蘇地区においては、震災復興に伴う道路工事向けの出荷が旺盛。地区内でのガラ不足が慢性化するなか、数量が多い現場では遠方からの持ち込みもみられ、需給はややひっ迫している。そのような状況下、販売側は設備更新費や輸送コストの一段高等を背景に値上げを打ち出し、売り腰を強めた。需要者側も安定供給を優先し価格が上伸。先行き、横ばいで推移する見通し。

熊本地区では震災復興関連工事に伴う路盤材需要は増加傾向にあるが、益城、御船等の一部の地区に限定されており、需給のひっ迫感はみられない。販売側も現行価格の維持に注力しており、先行き、横ばいで推移する見通し。

## 【アスファルト混合物】

### （熊本地区・阿蘇地区）

熊本県下の6月の製造数量は5万1,611tと前年同月比約15.5%の減少（日本アスファルト合材協会調べ）。大型物件に乏しく、熊本市中心部の需要は精彩を欠いており、対前年割れの状況が続いている。

価格は再生密粒度(13)が熊本地区でt当たり11,000円どころ、阿蘇地区でt当たり12,200円どころを横ばいで推移している。供給側は従前からの製造コスト・運搬コストアップ分を製品価格に転嫁したい意向を示している。ただ、需要が盛り上がりを見せないうち、需要者側の指し値は厳しさを増しており、一部では値下げに応じる場面も見られる。熊本地区は、先行き、弱含みで推移する見通し。

阿蘇地区においては、震災復興需要も依然続いており、供給側は売り腰を引き締め現行価格の維持に注力しており、先行き横ばいの見通し。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（地場資材）

【2019年8月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	熊本地震以降の直近変動 (月号・額) ※2016年4月号 以降の変動		単位	価 格 (円)	前月比	現在の需給	先行き	
		需給	価格見通し						
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) [132]	熊本	—	(変動なし)	m3	15,500	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 7月号	2,000円上伸	m3	19,300	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砂 荒目(洗い) [193]	熊本	2017年 12月号	250円上伸	m3	3,350	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2017年 12月号	200円上伸	m3	4,100	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
コンクリート用 砕石 20～5mm [193]	熊本	2018年 2月号	200円上伸	m3	3,400	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
	阿蘇	2018年 2月号	300円上伸	m3	3,900	変わらず	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
再生 クラッシュラン 40～0mm [193]	熊本	—	(変動なし)	m3	2,000	変わらず	均衡	均衡	横ばい
	阿蘇	2019年 9月号	150円上伸	m3	3,350	上伸	ややひっ迫	ややひっ迫	横ばい
アスファルト 混合物 再生密粒度 (13) [324]	熊本	2018年 5月号	200円下落	t	11,000	変わらず	均衡	均衡	弱含み
	阿蘇	—	(変動なし)	t	12,200	変わらず	均衡	ややひっ迫	横ばい

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

熊本地震 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品（一般資材）

【2019年8月15日 現在】

資材名 [掲載頁]	地区名	市場動向・概況	現在の需給	先行き	
				需給	価格見通し
鋼材 異形棒鋼 [24]	熊本	価格はSD295A・D16でt当たり1,000円続落し6万9,000円どころ。鉄屑下落を背景に流通側の価格競争が強まり、価格は下落した。足元、鉄屑相場に底入れ気配が漂う中、メーカー側は、採算重視の販売姿勢を強めている。需要者側は様子見の構えをみせており、先行き、横ばい。	やや緩和	均衡	横ばい
型枠材 コンクリート型枠用合板 [217]	熊本	価格は、無塗装品ラワン、12×900×1800mmで枚当たり1,390円と前月比横ばい。原産地からの輸入量が減少したものの、需要は盛り上がりを欠き、流通在庫の余剰感は払拭されていない。販売側では現行価格水準維持に努めているが、現状、需要回復は期待薄の状況。目先、弱含みで推移。	やや緩和	やや緩和	弱含み

【特記】 需給動向は供給者側に確認し、直近1～2か月前と比較した結果である。

## 【主要資材の価格推移】





